



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画グループ (氏名) 川崎 弘敬

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	19,579	9.6	542	7.7	594	6.3	396	11.9
2019年3月期第3四半期	21,647	1.6	587	2.6	634	5.9	449	5.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 379百万円 (5.3%) 2019年3月期第3四半期 401百万円 (8.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	32.01	
2019年3月期第3四半期	36.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	14,890	5,134	34.5	414.76
2019年3月期	14,766	4,891	33.1	395.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 5,134百万円 2019年3月期 4,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		5.00	10.00
2020年3月期		6.00			
2020年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,300	1.2	800	19.3	840	16.1	560	11.6	45.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	13,495,248 株	2019年3月期	13,495,248 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,115,225 株	2019年3月期	1,115,225 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	12,380,023 株	2019年3月期3Q	12,380,041 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足解消に向けて所得の改善の動きがみられるものの10月の消費税率引き上げもあり、引き続き消費は弱含みで推移しました。世界経済では米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題、日韓関係の悪化等、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは中期の事業戦略として、「経営基盤の強化と企業価値の最大化」と「食品・飲料企業のアライアンスで事業再編・構築」を掲げ、全てのステークホルダーから信頼と支持を得る活動を着実に実施しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高19,579百万円（前年同四半期比9.6%減）、営業利益542百万円（同7.7%減）、経常利益594百万円（同6.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益396百万円（同11.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

① 自販機運営リテイル事業

自販機オペレーター業界におきましては、自販機ロケーションや設置台数の飽和状態が続くなか、業種・業態を越えた飲料ビジネスの競争激化による収益性の低下に加え、人手不足や採用難を背景とした人件費及び物流費の上昇により事業環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは缶・ペットボトル飲料自販機にカップコーヒー自販機やフード等の自販機をセットで展開する「スマートストア」の推進を図っております。ライフスタイルや社会環境に合わせたビジネスモデルへと進化させ、工場やオフィス内への設置に力を入れるなど、多くの皆様に自販機の持つ利便性、快適性の提供に努めてまいりました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は11,586百万円（前年同四半期比4.3%減）、セグメント利益は181百万円（同24.7%減）となりました。

② 飲料製造事業

売上高は天候不順の影響もあり、低アルコール飲料を中心に前年度を下回る結果となりましたが、利益面では生産体制の見直しと2年目を迎えたソフトパウチ飲料の伸びにより、当事業全体の利益は前年を上回る結果となりました。

当社独自ブランドのチューハイ「ASTER(アスター)」はシークワサー・桃・レモンなどのストレート果汁を原料に使用したプレミアムチューハイとして好評を得ております。また台湾・香港・シンガポールなどアセアン諸国へ輸出を行っており、ASTERを当地におけるチューハイブランドとして育成してまいります。

ソフトパウチ飲料については、大手小売企業に対し製品の企画・デザインから製造までを一貫して提案するODM(Original Design Manufacturing)を強化するとともに、ヘルスクエア市場をターゲットに自社オリジナル商品の開発も進めております。

この結果、飲料製造事業の売上高は7,783百万円（前年同四半期比16.5%減）、セグメント利益は601百万円（同7.3%増）となりました。

③ 飲料サービスシステム事業

主要販売先であります遊技場業界は、射幸性の強い機種種の撤去に加え、受動喫煙問題など引き続き厳しい事業環境にあり、店内のお客様に本格コーヒーを景品として提供する「アオンズ・カード」の導入も厳しい状況が続いております。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は95百万円（前年同四半期比17.2%減）、セグメント利益は5百万円（同32.1%減）となりました。

④ 不動産運用事業

当社及びアオンズエステート株式会社を中心に展開する不動産運用事業ですが、本年9月に栃木県下野市に所在する物流倉庫を取得しました。現在は不動産運用事業の一環として外部へ賃貸しておりますが、2020年7月より新たに「アシード ロジスティクスセンター (ALC)」として活用します。アシードブリュー株式会社などグループ会社が物流センターとして利用することにより、コスト削減と物流サービスの向上を図るとともに、テナント型の物流施設として運用する予定であります。

不動産運用事業による売上高は114百万円（前年同四半期比23.3%増）、セグメント利益は133百万円（同0.7%減）となりました。なお、売上高はセグメント間の内部売上高115百万円を含めると229百万円となります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、5,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ792百万円減少いたしました。これは現金及び預金の減少188百万円、受取手形及び売掛金の減少460百万円及び商品及び製品の減少75百万円等によるものです。また、固定資産は9,838百万円となり、前連結会計年度末に比べ916百万円増加いたしました。これは建物及び構築物(純額)の増加514万円、土地の増加311百万円、建設仮勘定の増加283百万円及び長期前払費用の減少154百万円等によるものです。

この結果、総資産は14,890百万円となり、前連結会計年度末に比べ124百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は7,920百万円となり、前連結会計年度末に比べ177百万円増加いたしました。これは買掛金の減少308百万円、短期借入金の増加830百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少165百万円、未払金の増加90百万円、未払法人税等の減少135百万円、未払消費税等の減少75百万円及び賞与引当金の減少71百万円等によるものです。また、固定負債は1,834百万円となり、前連結会計年度末に比べ297百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少202百万円、リース債務の減少46百万円及びその他の減少52百万円等によるものです。

この結果、負債合計は9,755百万円となり、前連結会計年度末に比べ119百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,134百万円となり、前連結会計年度末に比べ243百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加396百万円及び剰余金の配当による減少136百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は34.5%(前連結会計年度末は33.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

飲料関連事業を取り巻く国内の事業環境は、少子化・人口減に代表されるように今後とも厳しさが増すなかで、自販機運営及び飲料製造の基盤強化を図るとともに、食品・飲料企業とアライアンスを組み、事業再編・構築を積極的に進めてまいります。

連結業績予想につきましては、2019年5月9日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,192,160	1,003,330
受取手形及び売掛金	1,887,685	1,427,307
商品及び製品	1,538,789	1,462,889
原材料及び貯蔵品	179,494	162,573
前払費用	409,347	384,269
その他	646,474	621,066
貸倒引当金	△9,217	△9,287
流動資産合計	5,844,734	5,052,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,108,522	1,622,661
機械装置及び運搬具(純額)	1,119,324	1,034,752
工具、器具及び備品(純額)	23,693	26,455
土地	3,580,514	3,892,317
リース資産(純額)	1,067,907	1,027,631
建設仮勘定	4,835	288,721
有形固定資産合計	6,904,798	7,892,540
無形固定資産		
のれん	44,950	35,046
リース資産	21,449	55,830
その他	64,100	82,324
無形固定資産合計	130,500	173,201
投資その他の資産		
投資有価証券	602,478	637,938
長期貸付金	7,715	7,302
長期前払費用	709,589	555,429
繰延税金資産	153,622	155,060
その他	599,208	609,466
貸倒引当金	△186,030	△192,287
投資その他の資産合計	1,886,584	1,772,909
固定資産合計	8,921,883	9,838,651
資産合計	14,766,617	14,890,800

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,613,249	2,304,657
短期借入金	2,100,000	2,930,000
1年内返済予定の長期借入金	536,609	370,716
リース債務	384,121	403,551
未払金	794,231	885,069
未払法人税等	194,114	59,021
未払消費税等	180,206	104,297
賞与引当金	125,152	53,292
その他	815,309	810,359
流動負債合計	7,742,994	7,920,963
固定負債		
長期借入金	885,701	683,557
リース債務	795,457	749,371
再評価に係る繰延税金負債	34,464	34,464
役員退職慰労引当金	104,975	101,975
退職給付に係る負債	122,858	129,296
資産除去債務	2,800	2,800
その他	186,071	133,487
固定負債合計	2,132,328	1,834,951
負債合計	9,875,323	9,755,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	4,213,345	4,473,509
自己株式	△588,250	△588,250
株主資本合計	5,436,345	5,696,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43,366	△53,627
土地再評価差額金	△490,212	△490,212
為替換算調整勘定	△11,722	△17,944
その他の包括利益累計額合計	△545,302	△561,784
新株予約権	251	159
純資産合計	4,891,294	5,134,884
負債純資産合計	14,766,617	14,890,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	21,647,376	19,579,291
売上原価	14,347,455	12,581,903
売上総利益	7,299,921	6,997,387
販売費及び一般管理費	6,712,018	6,455,021
営業利益	587,902	542,366
営業外収益		
受取利息	1,173	1,609
受取配当金	5,262	5,525
持分法による投資利益	43,301	59,309
投資事業組合運用益	6,498	3,837
不動産賃貸料	4,742	7,800
受取賃貸料	9,168	7,089
その他	51,034	31,607
営業外収益合計	121,183	116,779
営業外費用		
支払利息	45,469	39,799
その他	29,293	25,116
営業外費用合計	74,762	64,916
経常利益	634,323	594,229
特別利益		
固定資産売却益	43,095	1,184
投資有価証券売却益	16,052	-
特別利益合計	59,147	1,184
特別損失		
固定資産除却損	643	13,867
減損損失	135	26
特別損失合計	778	13,893
税金等調整前四半期純利益	692,692	581,521
法人税、住民税及び事業税	196,879	183,654
法人税等調整額	46,053	1,521
法人税等合計	242,933	185,176
四半期純利益	449,759	396,344
親会社株主に帰属する四半期純利益	449,759	396,344

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	449,759	396,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,071	△10,260
為替換算調整勘定	175	-
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,536	△6,221
その他の包括利益合計	△48,432	△16,482
四半期包括利益	401,326	379,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401,326	379,862

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,112,983	9,326,953	114,978	92,461	21,647,376	—	21,647,376
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,573	312,160	866	120,253	457,853	△457,853	—
計	12,137,556	9,639,113	115,844	212,715	22,105,230	△457,853	21,647,376
セグメント利益	240,717	560,905	8,707	134,898	945,229	△357,326	587,902

(注) 1. セグメント利益の調整額△357,326千円には、セグメント間取引消去2,779千円、のれんの償却額△7,522千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△352,583千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,586,204	7,783,836	95,235	114,013	19,579,291	—	19,579,291
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,513	201,574	727	115,689	347,504	△347,504	—
計	11,615,718	7,985,410	95,963	229,703	19,926,795	△347,504	19,579,291
セグメント利益	181,146	601,719	5,910	133,914	922,690	△380,323	542,366

(注) 1. セグメント利益の調整額△380,323千円には、セグメント間取引消去3,961千円、のれんの償却額△1,507千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△382,777千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(不動産運用事業における資産の著しい増加)

当第2四半期連結累計期間において、栃木県下野市に賃貸倉庫を購入したことにより、前連結会計年度末に比べ、「不動産運用事業」のセグメント資産が884,980千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。